

2027年3月期 第1四半期

決算説明資料

2026年8月10日

株式会社ワコールホールディングス

証券コード：3591

目次

1. 2027年3月期 第1四半期 決算概況	・ ・ ・ P.3
2. 2027年3月期 第1四半期 決算概況（セグメント別）	・ ・ ・ P.11
・ ワコール事業（国内）	・ ・ ・ P.12
・ ワコール事業（海外）	・ ・ ・ P.14
・ ピーチ・ジョン事業	・ ・ ・ P.16
3. 財務・株主還元	・ ・ ・ P.17
4. Appendix	・ ・ ・ P.20

2027年3月期 第1四半期 決算概況

27/3期 1Q エグゼクティブサマリー

売上収益

489億円

前年同期差
(前年同期比)

+39億円
(+8.8%)

- ・ **国内は苦戦**したものの、米国・欧州の寄与により伸長
- ・ 海外ではEC販売の拡大や米国におけるGlamorise社買収、英国 Bravissimo社の火災影響の反動もあり、**海外事業が全体を下支え**

売上総利益

286億円

前年同期差
(前年同期比)

+24億円
(+9.1%)

- ・ 米国はEC販売中心のGlamorise社買収に伴う利益構造の変化による粗利率の向上及び**関税の還付**により粗利額が増加
- ・ 欧州は**利益率の高い北米でのEC販売が増加**し粗利率が向上

事業利益

16億円

前年同期差
(前年同期比)

-8億円
(-34.3%)

- ・ 国内のフレックス定年制度廃止に伴う一時的な人件費戻し入れの反動及び米国のブランド認知向上の先行投資等で**減益**
- ・ 一部費用の後倒し等により**計画比では増益**

営業利益

18億円

前年同期差
(前年同期比)

-180億円
(-90.8%)

- ・ 前年同期に計上した**固定資産売却益**（新京都ビル等）の**反動**により大幅な減益

27/3期 1Q 実績

(単位：百万円)

	26/3期 1Q実績		27/3期 1Q実績		前年同期差	
	実績	売上比	実績	売上比	増減額	増減率
売上収益	44,956	—	48,905	—	+3,949	+8.8%
ワコール事業（国内）	22,270	49.5%	21,817	44.6%	-453	-2.0%
ワコール事業（海外）	18,436	41.0%	22,735	46.5%	+4,299	+23.3%
ピーチ・ジョン事業	2,783	6.2%	2,897	5.9%	+114	+4.1%
その他	1,467	3.3%	1,456	3.0%	-11	-0.7%
売上総利益	26,233	58.4%	28,613	58.5%	+2,380	+9.1%
販管費	23,831	53.0%	27,035	55.3%	+3,204	+13.4%
事業利益	2,402	5.3%	1,578	3.2%	-824	-34.3%
ワコール事業（国内）	604	1.3%	-275	—	-879	—
ワコール事業（海外）	1,621	3.6%	1,785	3.6%	+164	+10.1%
ピーチ・ジョン事業	11	0.0%	7	0.0%	-4	-36.4%
その他	65	0.1%	29	0.1%	-36	-55.4%
調整額	101	0.2%	32	0.1%	-69	-68.3%
営業利益	19,800	44.0%	1,812	3.7%	-17,988	-90.8%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	13,707	30.5%	1,553	3.2%	-12,154	-88.7%

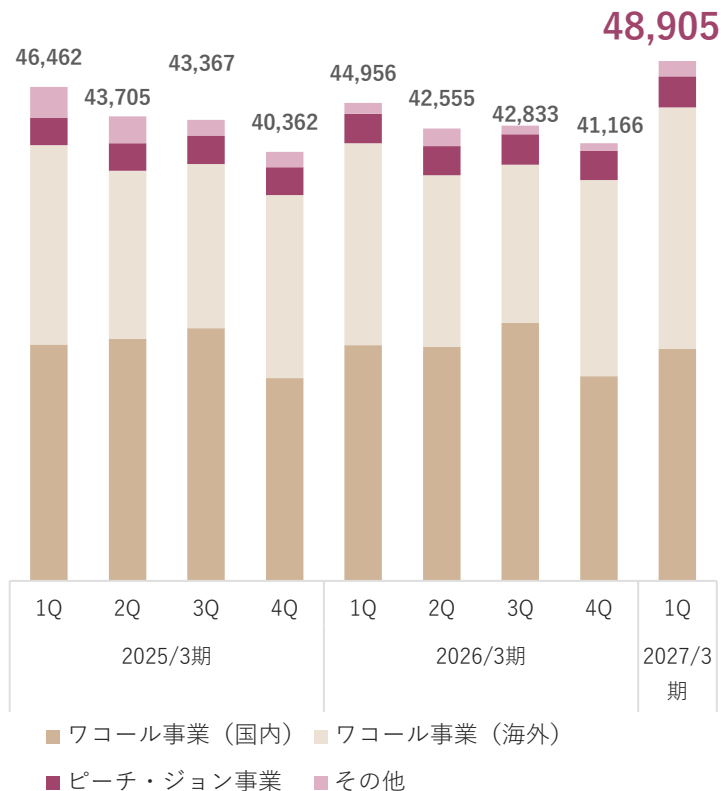
※ 2026年3月期中間連結会計期間において、企業結合の会計処理を確定したことに伴い、2026年3月期第一四半期の数値を遡及修正
 ※ 当期より報告セグメントの区分方法を変更。セグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示

売上収益・売上総利益・事業利益の四半期推移

米国でのGlamorise社買収や英国の火災影響の反動による売上増加が寄与し、
売上収益、売上総利益が伸長。事業利益は減益も、計画対比では上振れ

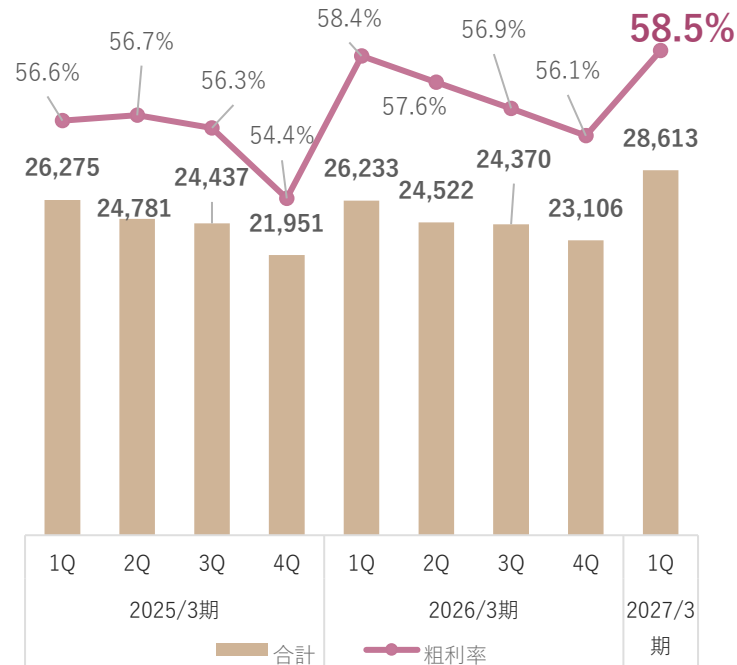
売上収益

(単位：百万円)



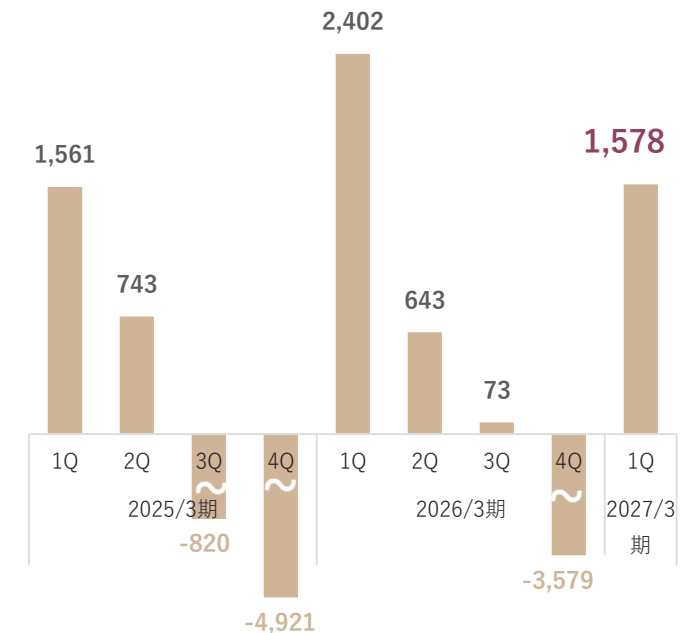
売上総利益

(単位：百万円)



事業利益

(単位：百万円)



※ 2026年3月期中間連結会計期間において、企業結合の会計処理を確定したことに伴い、2026年3月期第一四半期の数値を遡及修正
 ※ 当期より報告セグメントの区分方法を変更。セグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示

27/3期 1Q 利益影響項目

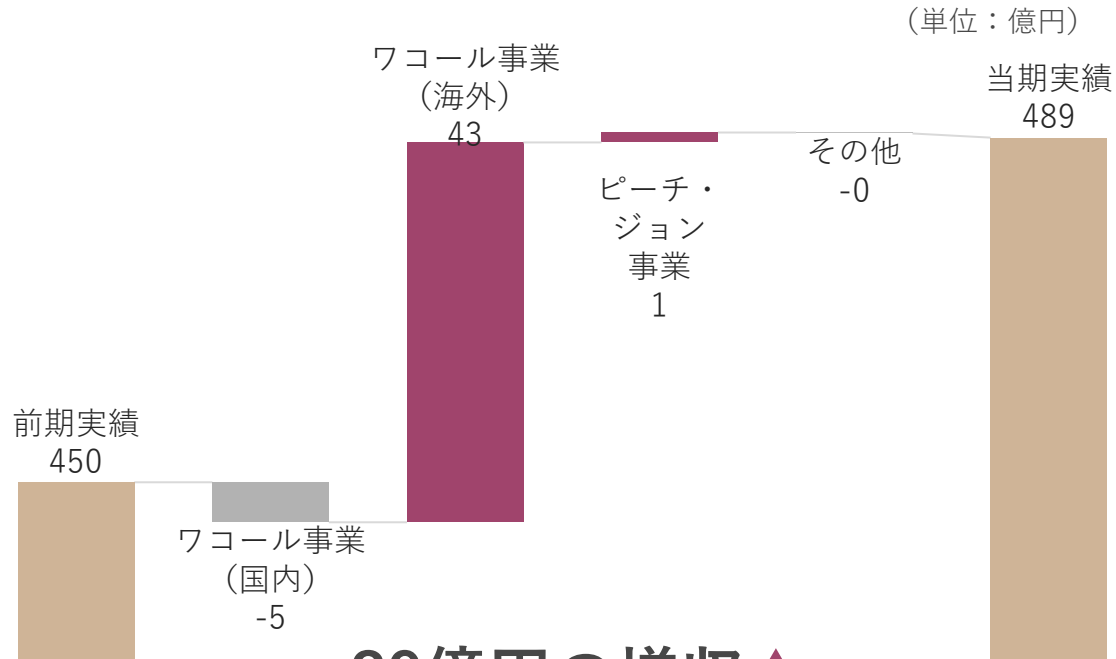
(単位：百万円)

	26/3期 1Q実績	27/3期 1Q実績	前年同期差		増減理由
			増減額	増減率	
事業利益	2,402	1,578	-824	-34.3%	
その他収益	17,452	296	-17,156	-98.3%	新京都ビル等の固定資産売却益約168億円の減少
その他費用	54	62	+8	+14.8%	
営業利益	19,800	1,812	-17,988	-90.8%	
金融収益	680	1,012	+332	+48.8%	受取配当金、為替差益の増加
金融費用	253	206	-47	-18.6%	
持分法による投資損益	-97	-10	+87	—	
税引前四半期利益	20,130	2,608	-17,522	-87.0%	
法人所得税費用	6,437	1,101	-5,336	-82.9%	税引前四半期利益の減少
四半期利益	13,693	1,507	-12,186	-89.0%	
非支配持分損益	-14	-46	-32	—	
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	13,707	1,553	-12,154	-88.7%	

※ 2026年3月期中間連結会計期間において、企業結合の会計処理を確定したことに伴い、2026年3月期第一四半期の数値を遡及修正

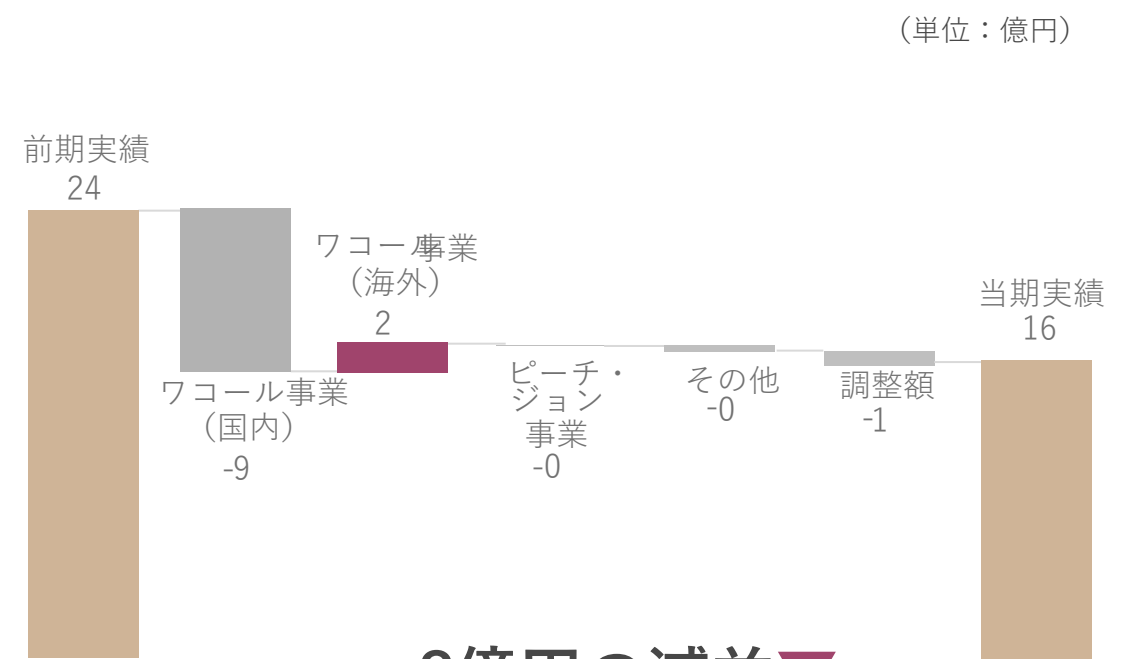
27/3期 1Q 売上収益・事業利益の前年同期差

売上収益



39億円の増収▲

事業利益



8億円の減益▼

- 国内 得意先の販促施策縮小、気温低下や台風等による販売低迷
- 米国 買収したGlamorise社の増収影響 + 15億円
- 欧州 北米のEC好調及びBravissimo社の前年火災影響反動
- 中国 長引く景気低迷も、為替影響（円安）により増収
- ピーチジョン 新規顧客の獲得強化により、全チャネルが好調

- 国内 フレックス制度廃止の反動影響及び一般経費の増加
- 米国 ブランド認知向上の先行投資等で減益
- 欧州 増収及び粗利率の高いEC比率の高まりにより増益
- 中国 在庫消化等の値引きで粗利率低下、構造改革費用により減益
- ピーチジョン プロモーション費用増、店舗改装費用等の計上

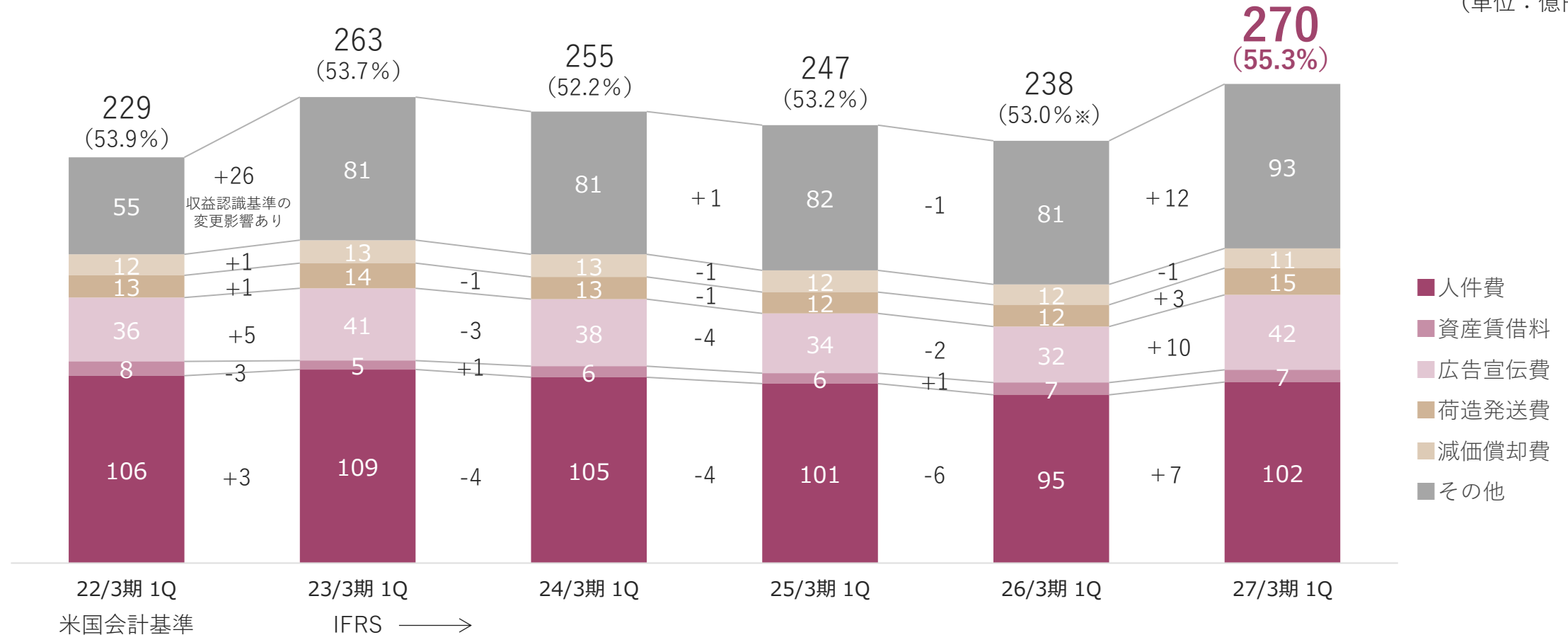
※ 2026年3月期中間連結会計期間において、企業結合の会計処理を確定したことに伴い、2026年3月期第一四半期の数値を遡及修正
 ※ 当期より報告セグメントの区分方法を変更。セグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示

27/3期 1Q 販管費の推移

為替影響及び米国におけるM&A、ブランド認知向上への先行投資等により増加

※ワコールグループ連結数値に基づいて作成

(単位：億円)

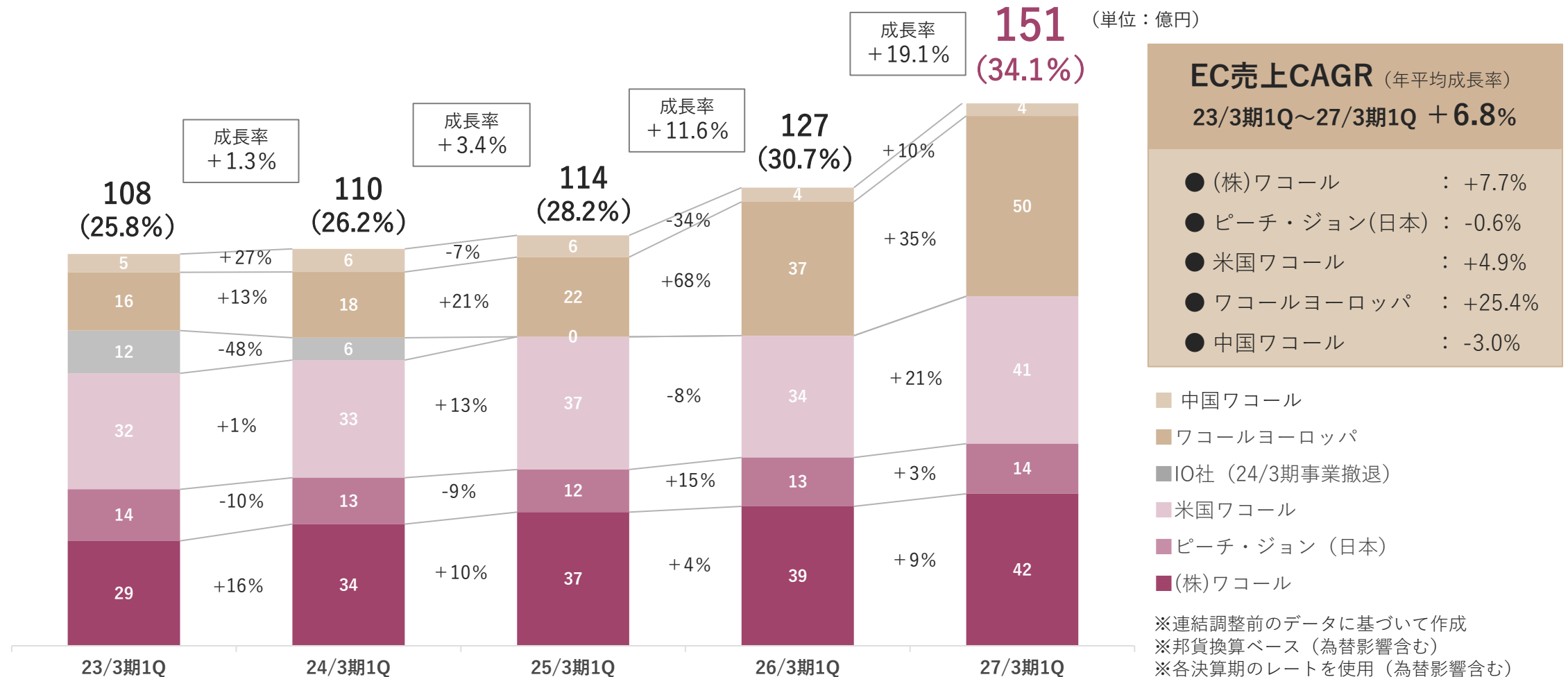


※ 2026年3月期中間連結会計期間において、企業結合の会計処理を確定したことに伴い、2026年3月期第一四半期の数値を遡及修正

27/3期 1Q EC事業の進捗

米国における買収が寄与し、主要5社合計のEC比率は34%を超え、EC売上が拡大加速

(EC比率：(株)ワコール 19%、ピーチ・ジョン(日本) 52%、米国ワコール 52%、ワコールヨーロッパ 49%、中国ワコール 27%)



※ 2026年3月期中間連結会計期間において、企業結合の会計処理を確定したことに伴い、2026年3月期第一四半期の数値を遡及修正

※ 27/3期以降開示資料における(株)ワコールのEC比率は、中期経営計画2029における新定義(自社ECおよび専業ECプラットフォームのみ)に基づき算出。そのため26/3期以前の開示資料の数値とは異なる

2027年3月期 第1四半期 決算概況（セグメント別）

【セグメント別】ワコール事業(国内)の概況

売上収益
218億円

前年同期差
(前年同期比)
-5億円
(-2.0%)

実店舗は得意先の大型販促施策縮小等の影響を受け苦戦するも、ECは販促施策等が奏功し前年同期比で大きく伸長し、計画も上回る

- **チャネル別** 実店舗：量販店得意先の大型販促施策の縮小の影響を受け苦戦
EC：自社ECは広告投下、大型販促の実施により集客が大幅伸長。主要プラットフォームのイベントに合わせた施策も奏功し他社ECも躍進
- **ブランド別** WACOAL・Wing：得意先の大型販促施策縮小の影響により低調
Yue：スター品番の充足率向上によりリピート率が高まり好調に推移
CW-X：アスリート着用でブランド認知が拡大し、実店舗・ECともに伸長

事業利益
-3億円

前年同期差
(前年同期比)
-9億円
(—)

減収やフレックス定年制度廃止に伴う一時的な人件費戻し入れの反動等の影響により減益

- 減収や原材料高、為替影響があるも（株）ワコール単体では納品コントロールによる返品減少で粗利率は約1ポイント改善
- 前年同期に計上したフレックス定年制度廃止による人件費の戻し入れ※1の反動や一般経費増加の影響で減益も、（株）ワコール単体では計画対比インラインで推移
- （株）ワコール単体では黒字も、会計基準の連単差※2によりセグメント合計では事業赤字

子会社名	売上収益（単位：億円）		売上総利益率（粗利率）		販管費率		事業利益（単位：億円）	
	27/3期1Q	前年同期差	27/3期1Q	前年同期差	27/3期1Q	前年同期差	27/3期1Q	前年同期差
（株）ワコール ※日本基準	206	-5	57.6%	+0.9pt	56.8%	+1.1pt	2	-0.5

※ 当期より報告セグメントの区分方法を変更。セグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示

※1 フレックス定年制度の廃止により退職給付に係る負債を取崩し人件費の戻し入れが発生

※2 単体上は日本基準、連結上はIFRS（国際会計基準）を適用

【セグメント別】ワコール事業(国内)のトピックス

独自技術・デジタル活用を通じて新たな成長機会の創出を推進

「Meloopラボ」の開設

- 2026年5月に研究開発拠点「Meloopラボ」を京都に開設
- BASF社との協業による自動車分野への展開も進め、事業領域の拡大を推進



樹脂型に繊維を吹き付け
立体物を成形



車両用アームレストの
試作品

事業展開ロードマップ

2028年以降



非インナー業界（産業）
へのMeloop資材提供開始

2030年以降



Meloop資材搭載車
の販売開始

「SCANBE base」の提供開始

- SCANBEの知見を活用した新サービス「SCANBE base」の提供を開始
- スポーツ・ヘルスケア領域向けとしてゴールドジムなど※1でサービス開始



3D計測の様子



計測結果は
スマートフォンでも確認可

- 🕒 3Dスキャン：約3秒
- 🕒 体験時間：約10分
- 📍 設置拠点：4施設
- 👤 性別を問わず利用可能

PHR（Personal Health Record）サービス市場は
2030年には約1兆円規模へ成長見込み ※2



「わたしに合うブラ診断」アップデート

- 対象をSMLサイズブラ（主にノンワイヤー）まで拡大
- 診断対象ブランド・品番の拡充により、顧客接点・商品露出・購買機会の拡大を推進



利用者人数
100万人
突破 ※3



SMLサイズ
ブラ対応
5ブランド
約30品番追加



診断後の
購入率
7.7% ※4

※1 グラングリーン大阪「SLOW AND STEADY」、ゴールドジム（銀座東京店、東中野東京店、大阪中之島店）2026年7月時点

※2 出典 経済産業省「令和5年度補正PHR社会実装加速化事業（PHR活用促進に向けた調査及び日常生活におけるPHRを活用したユースケース創出に向けた実証調査事業）報告書 2025年3月31日」

※3 2025/7/14～2026/6/30（わたしに合うブラ診断を利用した延べ人数）

※4 2025/7/14～2026/6/30（わたしに合うブラ診断を利用した人のワコールウェブストア内注文率）

【セグメント別】ワコール事業(海外)の概況

売上収益

227億円

前年同期差
(前年同期比)

+43億円
(+23.3%)

米国での買収による増収、欧州の前年発生火災影響の反動等で伸長

- 米国：Glamorise社の買収による増収に加え、主要ECプラットフォーム販促施策時期の前倒し等の効果もありECが伸長
- 欧州：前年の関税影響の反動で北米ECが好調だったことに加え、Bravissimo社において前年同期に発生した火災影響の反動等もあり増収
- 中国：販促活動の強化や商品構成の見直し等の効果により計画対比で実店舗販売は堅調に推移するも、ECの大型販促イベント等が振るわず苦戦。為替影響により増収

事業利益

18億円

前年同期差
(前年同期比)

+2億円
(+10.1%)

米国での広告宣伝費、中国の構造改革費用計上も欧州の好調がカバー

- 米国：Glamorise社買収によるEC比率の向上や関税の還付等※により粗利率は上昇
SNS・インフルエンサー・屋外広告等を連動したブランド認知向上施策に先行投資
※約3億円が売上原価に戻し入れ
- 欧州：増収及び粗利率の高い北米のEC販売が好調に推移し増益
- 中国：在庫消化による値引き実施で粗利率は悪化。不採算店舗撤退に伴う費用等により販管費率は上昇するも、着実に構造改革は進展

子会社名	売上収益 (単位：億円)		売上総利益率 (粗利率)		販管費率		事業利益 (単位：億円)	
	27/3期1Q	前年同期差	27/3期1Q	前年同期差	27/3期1Q	前年同期差	27/3期1Q	前年同期差
ワコールインターナショナル(米国) ※Glamorise社含む	89	+23	52.2%	+1.5pt	45.1%	+5.5pt	7	-0.9
ワコールヨーロッパ ※Bravissimo社含む	105	+18	65.0%	+1.5pt	53.7%	-0.7pt	12	+4
中国ワコール	20	+2	67.4%	-2.0pt	80.3%	+1.5pt	-3	-0.9

※ 2026年3月期中間連結会計期間において、企業結合の会計処理を確定したことに伴い、2026年3月期第一四半期の数値を遡及修正
 ※ 当期より報告セグメントの区分方法を変更。セグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示

【セグメント別】ワコール事業(海外)のトピックス

米国ではGlamorise社のPMIが順調に進展し、中国では収益改善に向けた施策が計画通り進捗

米国：Glamorise社PMIによる シナジー創出が進展

PMI分科会の統合作業が順調に進展

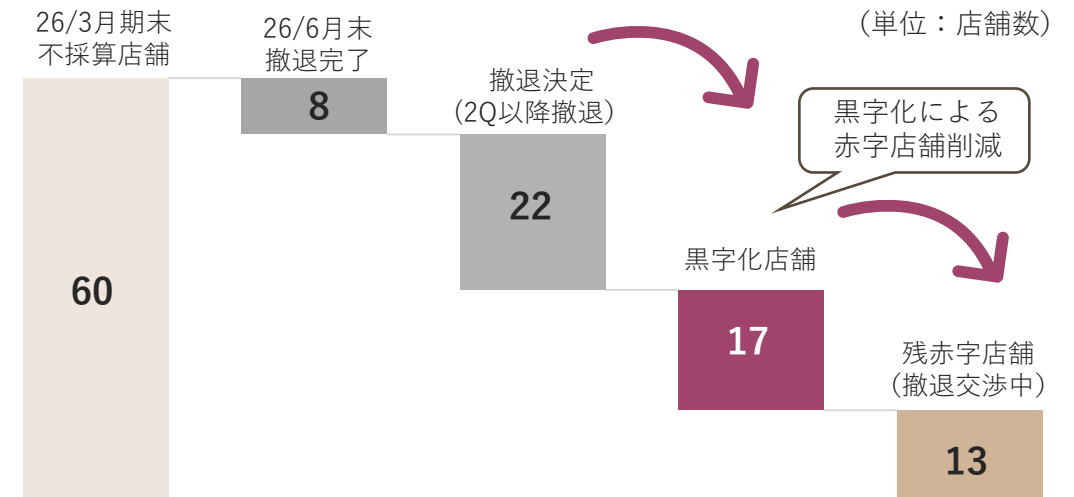
- 人事・財務・ITインフラを中心に**統合が着実に進展**
- ERP統合など継続課題はあるものの、全体としては概ね計画通り、コスト削減施策は**前倒しで進捗**
- PMI分科会による課題管理を継続し、**統合効果の最大化を図る**

中国：不採算店舗の削減と黒字化を推進

不採算店舗の整理、店舗立て直しを着実に実行

- 1Q末までに撤退完了・撤退決定店舗は**計30店舗**
- 条件交渉・調整等により、**17店舗の黒字化**に成功
- 今期黒字に転換した店舗も**継続的にモニタリング**を実施。期中に損益が悪化した際は即撤退候補に転換し、**赤字店舗の解消を徹底**

<不採算店舗削減計画>



売上拡大シナジー	コスト削減シナジー
2Q以降創出フェーズへ ・2026年8月よりGlamorise.comでWacoal商品の発売を開始 ・2026年7月より直営店・アウトレットなどのWacoalチャネルでGlamorise商品の販売を開始	計画より前倒しで進捗 ・人員統合に伴う人件費削減効果が当初想定を上回り推移 ・オフィス統合を前倒しで推進、固定費削減に向け取り組み中

【セグメント別】ピーチ・ジョン事業の概況とトピックス

売上収益

29億円

前年同期差（前年同期比）
+1億円（+4.1%）

各種施策が奏功し全チャネルで伸長、特に他社ECが好調

- タレント活用施策により、新規顧客層へのリーチ拡大とブランド認知向上に寄与
- EC販売が好調で、特に他社ECは大手プラットフォーム各社が売上を牽引

事業利益

0億円

前年同期差（前年同期比）
-0億円（-36.4%）

増収効果を販管費増が相殺するも、黒字は確保

- プロモーション費用等の計上で販管費が増加

子会社名	売上収益 (単位：億円)		売上総利益率 (粗利率)		販管費率		事業利益 (単位：億円)	
	27/3期 1Q	前年 同期差	27/3期 1Q	前年 同期差	27/3期 1Q	前年 同期差	27/3期 1Q	前年 同期差
ピーチ・ジョン 連結	29	+1	56.7%	+0.6pt	56.4%	+0.8pt	0.07	-0.04

戦略的なタレント起用で新規顧客を獲得

反響の大きかったタレントを再起用し、
新規顧客層への訴求を強化

- 松島聡さん（timelesz）との人気企画を展開。着用商品およびコラボルームフレグランスの販売が好調



松島聡さんとの人気企画
「恋する、ルームウェア」



- 森香澄さんのミューズ起用に
伴うプロモーションが奏功し、
ブランド認知が拡大

森香澄さんを
ミューズに再起用

主力商品の好調が成長を牽引

- タレント起用による認知拡大を
背景に「盛れるノンワイヤー」
「ナイスバディブラ リボン
レース」などの主力商品が引き
続き好調



主力商品「盛れるノンワイヤーブラ」

財務・株主還元

財務戦略

※「中期経営計画2029」説明資料（2026年6月22日開示）を再掲

資本効率の改善に向けて株主還元を継続すると同時に、将来成長への投資を強化

考え方・方針

資本効率

- ・保有不動産：引き続き企業価値向上に寄与するか保有の妥当性を丁寧に検証し対応
- ・政策保有株式：27/3期～31/3期までに政策保有株式とみなし保有株式を合わせて、約400億円売却目標（31/3期に対して純資産比率15%未満目標）

株主還元

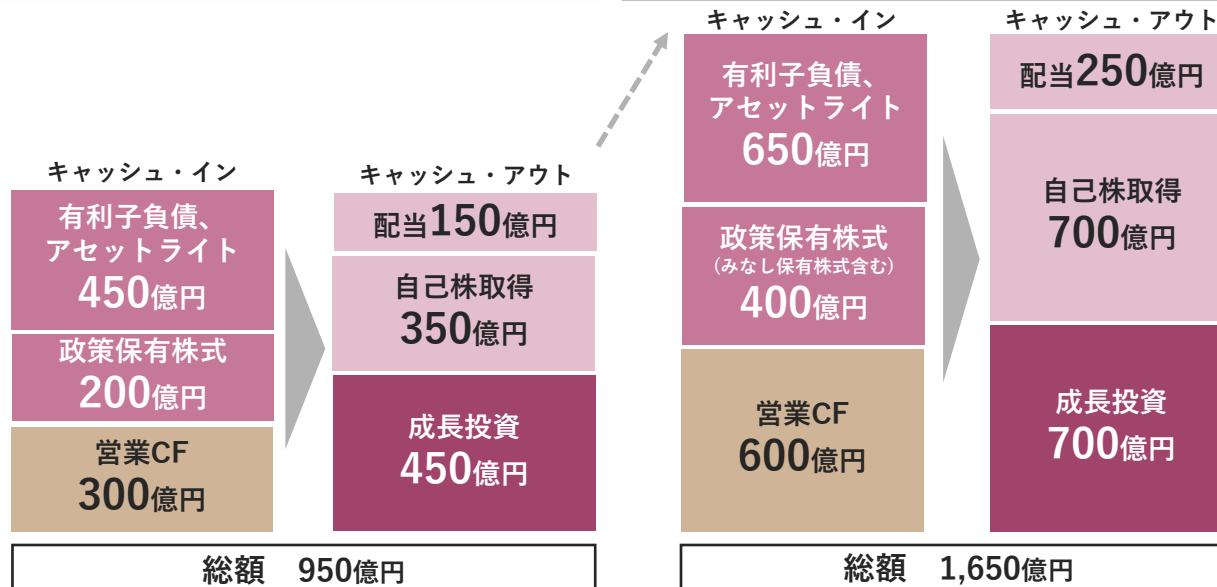
- ・1株あたり年間100円を維持。自己株式取得と合わせ、安定的かつ継続的な株主還元を計画
- ・アセットライトや政策保有株式の売却規模、進捗に応じて追加還元

成長投資

- ・国内：既存事業投資に加え、SCANBE、Melooopなどの新領域へ積極的な投資を実施
- ・海外：成長戦略に合致した投資を継続
- ・国内外ともにM&Aは「美」「快適」「健康」領域へ投資拡大

中期経営計画（27/3期～29/3期）

VISION2030期間（27/3期～31/3期）

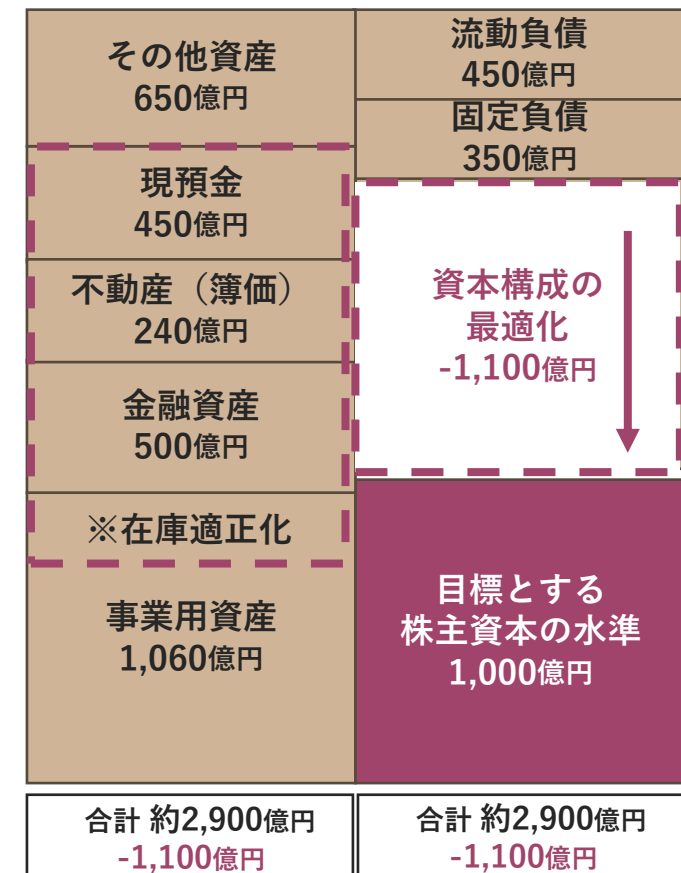


BSの目指すべき姿

- ・資本構成の最適化を通じて、将来的に株主資本1,000億円を目指す
- ・目標とする株主資本の水準を達成することでROE10%以上を実現

【資産】

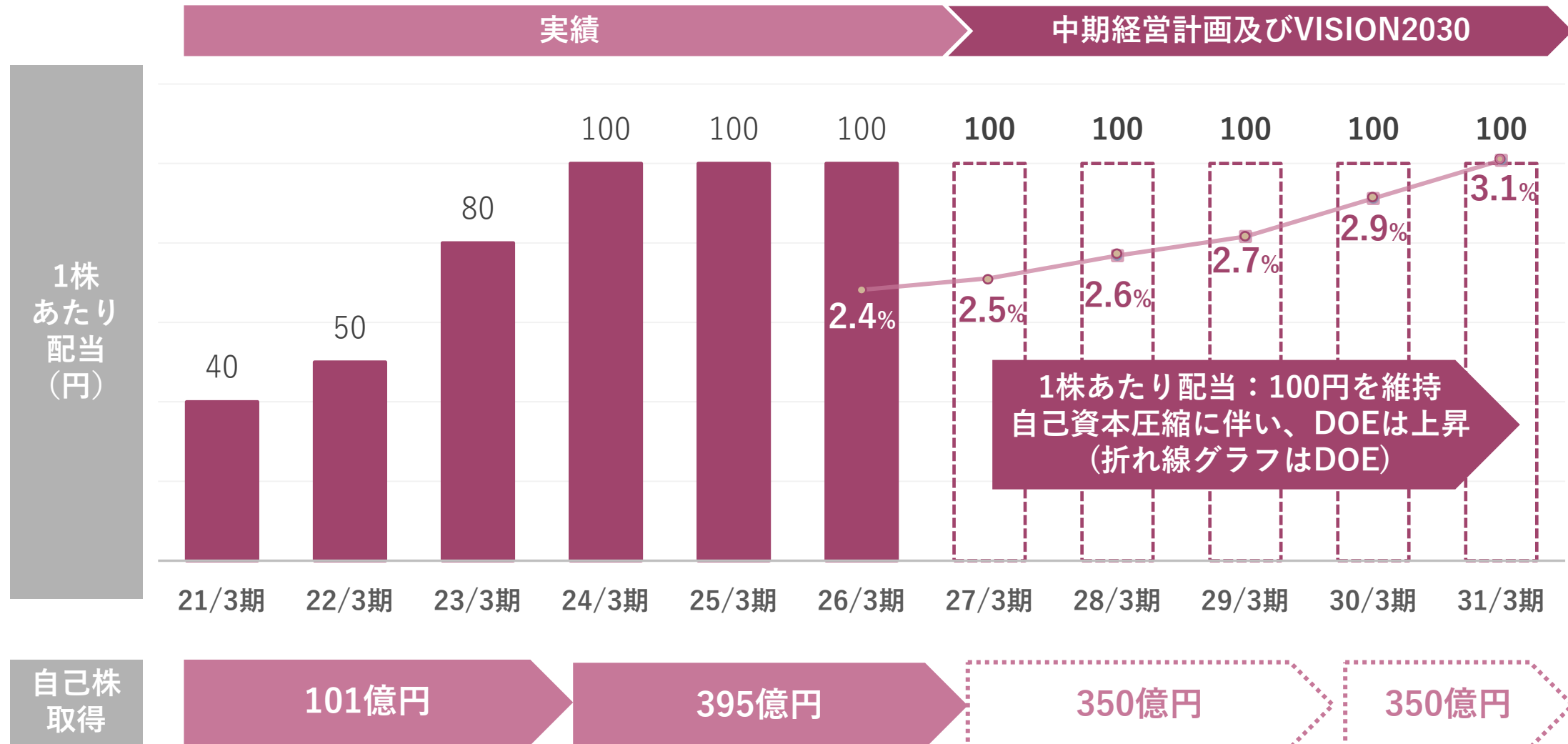
【負債・資本】



財務戦略 株主還元（配当推移・自己株取得）

※「中期経営計画2029」説明資料（2026年6月22日開示）を再掲

1株あたり配当100円の維持と自己株式の取得を通じて、安定的かつ継続的な株主還元を実施



Appendix

27/3期 1Q決算概況

為替レート	1 \$	1 £	1 円
26/3期 1Q実績	144.59	193.01	19.99
27/3期 1Q実績	159.49	213.97	23.43

(単位：百万円)

	26/3期 1Q実績	売上比	27/3期 1Q実績	売上比	対26/3期 1Q実績	
					増減額	増減率
売上収益	44,956	—	48,905	—	+3,949	+8.8%
売上原価	18,723	41.6	20,292	41.5	+1,569	+8.4%
売上総利益	26,233	58.4	28,613	58.5	+2,380	+9.1%
販売費及び一般管理費	23,831	53.0	27,035	55.3	+3,204	+13.4%
事業利益	2,402	5.3	1,578	3.2	-824	-34.3%
その他の収益	17,452	38.8	296	0.6	-17,156	-98.3%
その他の費用	54	0.1	62	0.1	+8	+14.8%
営業利益	19,800	44.0	1,812	3.7	-17,988	-90.8%
金融収益	680	1.5	1,012	2.1	+332	+48.8%
金融費用	253	0.6	206	0.4	-47	-18.6%
持分法による投資利益（損失）	-97	—	-10	—	—	—
税引前利益	20,130	44.8	2,608	5.3	-17,522	-87.0%
親会社の所有者に帰属する当期利益	13,707	30.5	1,553	3.2	-12,154	-88.7%

※ 2026年3月期中間連結会計期間において、企業結合の会計処理を確定したことに伴い、2026年3月期第一四半期の数値を遡及修正

27/3期 1Q決算概況（セグメント別）

為替レート	1 \$	1 £	1 円
26/3期 1Q実績	144.59	193.01	19.99
27/3期 1Q実績	159.49	213.97	23.43

（単位：百万円）

	26/3期 1Q実績	売上比（％）	27/3期 1Q実績	売上比（％）	対26/3期 1Q実績	
					増減額	増減率
ワコール事業（国内）	22,270	49.5	21,817	44.6	-453	-2.0%
ワコール事業（海外）	18,436	41.0	22,735	46.5	+4,299	+23.3%
ピーチ・ジョン事業	2,783	6.2	2,897	5.9	+114	+4.1%
その他	1,467	3.3	1,456	3.0	-11	-0.7%
売上収益	44,956	100	48,905	100	+3,949	+8.8%
	26/3期 1Q実績	売上比（％）	27/3期 1Q実績	売上比（％）	増減額	増減率
ワコール事業（国内）	604	1.3	-275	—	-879	—
ワコール事業（海外）	1,621	3.6	1,785	3.6	+164	+10.1%
ピーチ・ジョン事業	11	0.0	7	0.0	-4	-36.4%
その他	65	0.1	29	0.1	-36	-55.4%
調整額	101	0.2	32	0.1	-69	-68.3%
事業利益（損失）	2,402	5.3	1,578	3.2	-824	-34.3%
	26/3期 1Q実績	売上比（％）	27/3期 1Q実績	売上比（％）	増減額	増減率
ワコール事業（国内）	17,698	39.4	-48	—	-17,746	—
ワコール事業（海外）	1,689	3.8	1,827	3.7	+138	+8.2%
ピーチ・ジョン事業	33	0.1	11	0.0	-22	-66.7%
その他	361	0.8	45	0.1	-316	-87.5%
調整額	19	0.0	-23	—	-42	—
営業利益	19,800	44.0	1,812	3.7	-17,988	-90.8%

※ 2026年3月期中間連結会計期間において、企業結合の会計処理を確定したことに伴い、2026年3月期第一四半期の数値を遡及修正

※ 当期より報告セグメントの区分方法を変更。セグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示

27/3期 1Q決算概況（主要子会社）

為替レート	1 \$	1 £	1元
26/3期 1Q実績	144.59	193.01	19.99
27/3期 1Q実績	159.49	213.97	23.43

(単位：百万円)

	売上収益				事業利益（損失）				営業利益（損失）			
	26/3期 1Q実績	27/3期 1Q実績	対26/3期 1Q実績		26/3期 1Q実績	27/3期 1Q実績	対26/3期 1Q実績		26/3期 1Q実績	27/3期 1Q実績	対26/3期 1Q実績	
			増減額	増減率			増減額	増減率			増減額	増減率
ワコール	21,031	20,557	-474	-2.3%	214	162	-52	-24.3%	15,804	346	-15,458	-97.8%
ワコール インター ナショナル	6,626	8,900	+2,274	+34.3%	753	661	-92	-12.2%	751	661	-90	-12.0%
ワコール ヨーロッパ	8,772	10,540	+1,768	+20.2%	789	1,182	+393	+49.8%	820	1,212	+392	+47.8%
中国ワコール	1,816	2,003	+187	+10.3%	-173	-261	-88	—	-159	-263	-104	—
ピーチ・ ジョン	2,783	2,897	+114	+4.1%	11	7	-4	-36.4%	33	11	-22	-66.7%
A i	639	600	-39	-6.1%	17	8	-9	-52.9%	17	8	-9	-52.9%

【海外主要子会社】（現地通貨ベース）（単位 米国：千US\$ ヨーロッパ：千£ 中国：千元）

ワコール インター ナショナル	45,827	55,803	+9,976	+21.8%	5,211	4,141	-1,070	-20.5%	5,201	4,143	-1,058	-20.3%
ワコール ヨーロッパ	45,442	49,259	+3,817	+8.4%	4,075	5,623	+1,548	+38.0%	4,238	5,763	+1,525	+36.0%
中国ワコール	90,855	85,507	-5,348	-5.9%	-8,655	-11,111	-2,456	—	-7,966	-11,220	-3,254	—

※ 原則、各国現地会計基準にて表示

※ 2026年3月期中間連結会計期間において、企業結合の会計処理を確定したことに伴い、2026年3月期第一四半期の数値を遡及修正

27/3期 通期計画

為替レート	1 \$	1 £	1元
26/3期 実績	150.77	202.10	21.25
27/3期 計画	155.00	210.00	22.00

(単位：百万円)

	26/3期 実績	売上比	27/3期 計画	売上比	対前期	
					増減額	増減率
売上収益	171,510	—	187,600	—	+16,090	+9.4%
売上原価	73,279	42.7	78,930	42.1	+5,651	+7.7%
売上総利益	98,231	57.3	108,670	57.9	+10,439	+10.6%
販売費及び一般管理費	98,692	57.5	108,170	57.7	+9,478	+9.6%
事業利益	-461	—	500	0.3	+961	—
その他の収益	24,080	14.0	1,150	0.6	-22,930	-95.2%
その他の費用	3,742	2.2	150	0.1	-3,592	-96.0%
営業利益	19,877	11.6	1,500	0.8	-18,377	-92.5%
金融収益	2,075	1.2	1,510	0.8	-565	-27.2%
金融費用	785	0.5	750	0.4	-35	-4.5%
持分法による投資利益（損失）	-1,514	—	340	0.2	+1,854	—
税引前利益	19,653	11.5	2,600	1.4	-17,053	-86.8%
親会社の所有者に帰属する当期利益	13,124	7.7	1,800	1.0	-11,324	-86.3%

27/3期 通期計画（セグメント別）

為替レート	1 \$	1 £	1 元
26/3期 実績	150.77	202.10	21.25
27/3期 計画	155.00	210.00	22.00

(単位：百万円)

	26/3期 実績	売上比 (%)	27/3期 計画	売上比 (%)	対前期	
					増減額	増減率
ワコール事業（国内）	88,428	51.6	90,400	48.2	+1,972	+2.2%
ワコール事業（海外）	66,138	38.5	79,300	42.3	+13,162	+19.9%
ピーチ・ジョン事業	11,144	6.5	11,800	6.3	+656	+5.9%
その他	5,800	3.4	6,100	3.2	+300	+5.2%
売上収益	171,510	100.0	187,600	100.0	+16,090	+9.4%
	26/3期 実績	売上比 (%)	27/3期 計画	売上比 (%)	増減額	
					増減額	増減率
ワコール事業（国内）	-1,228	—	-1,325	—	-97	—
ワコール事業（海外）	349	0.5	1,240	1.6	+891	+255.3%
ピーチ・ジョン事業	130	1.2	140	1.2	+10	+7.7%
その他	-108	—	50	0.8	+158	—
調整額	396	—	395	—	-1	-0.3%
事業利益（損失）	-461	—	500	0.3	+961	—
	26/3期 実績	売上比 (%)	27/3期 計画	売上比 (%)	増減額	
					増減額	増減率
ワコール事業（国内）	19,184	21.7	0	0.0	-19,184	-100.0%
ワコール事業（海外）	132	0.2	1,250	1.6	+1,118	+847.0%
ピーチ・ジョン事業	149	1.3	100	0.8	-49	-32.9%
その他	298	5.1	100	1.6	-198	-66.4%
調整額	114	—	50	—	-64	-56.1%
営業利益（損失）	19,877	11.6	1,500	0.8	-18,377	-92.5%

※ 当期より報告セグメントの区分方法を変更。セグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示

27/3期 通期計画（主要子会社）

為替レート	1 \$	1 £	1元
26/3期 実績	150.77	202.10	21.25
27/3期 計画	155.00	210.00	22.00

(単位：百万円)

	売上収益				事業利益（損失）				営業利益（損失）			
	26/3期 実績	27/3期 計画	対同期		26/3期 実績	27/3期 計画	対前期		26/3期 実績	27/3期 計画	対前期	
			増減額	増減率			増減額	増減率			増減額	増減率
ワコール	82,998	84,822	+1,824	+2.2%	690	1,400	+710	+102.9%	18,549	2,207	-16,342	-88.1%
ワコール インター ナショナル	22,952	30,111	+7,159	+31.2%	-256	0	+256	—	-335	0	+335	—
ワコール ヨーロッパ	30,829	36,221	+5,392	+17.5%	1,435	2,355	+920	+64.1%	2,180	2,355	+175	+8.0%
中国ワコール	7,481	7,700	+219	+2.9%	-847	-946	-99	—	-853	-961	-108	—
ピーチ・ジョン (連結)	11,144	11,800	+656	+5.9%	130	140	+10	+7.7%	149	100	-49	-32.9%
A i	2,858	2,940	+82	+2.9%	78	120	+42	+53.8%	72	126	+54	+75.0%

【海外主要子会社】（現地通貨ベース）（単位 米国：千US\$ ヨーロッパ：千£ 中国：千元）

ワコール インター ナショナル	152,234	194,263	+42,029	+27.6%	-1,694	0	+1,694	—	-2,221	0	+2,221	—
ワコール ヨーロッパ	152,563	172,482	+19,919	+13.1%	7,112	11,215	+4,103	+57.7%	10,798	11,215	+417	+3.9%
中国ワコール	352,044	350,000	-2,044	-0.6%	-39,919	-43,000	-3,081	—	-40,163	-43,660	-3,497	—

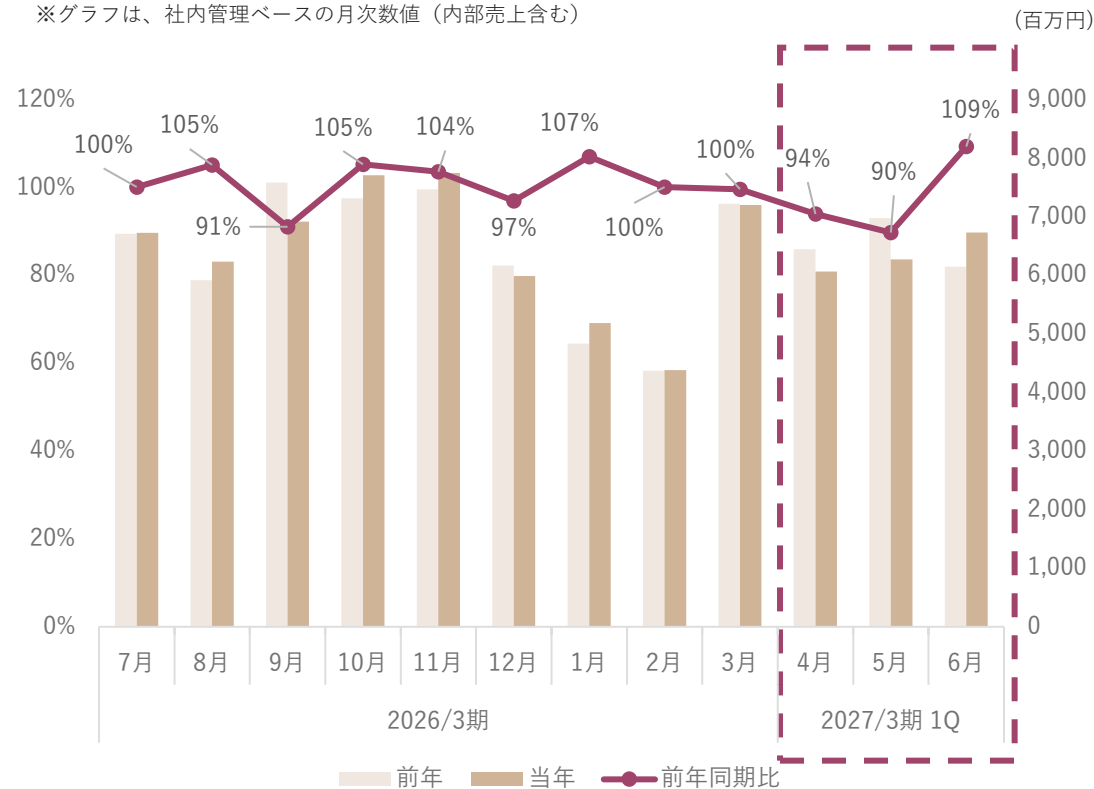
※ 原則、各国現地会計基準にて表示

国内主要子会社の売上月次推移

(株) ワコール

27/3月期1Q累計:前年同期比97% ▼

※グラフは、社内管理ベースの月次数値（内部売上含む）

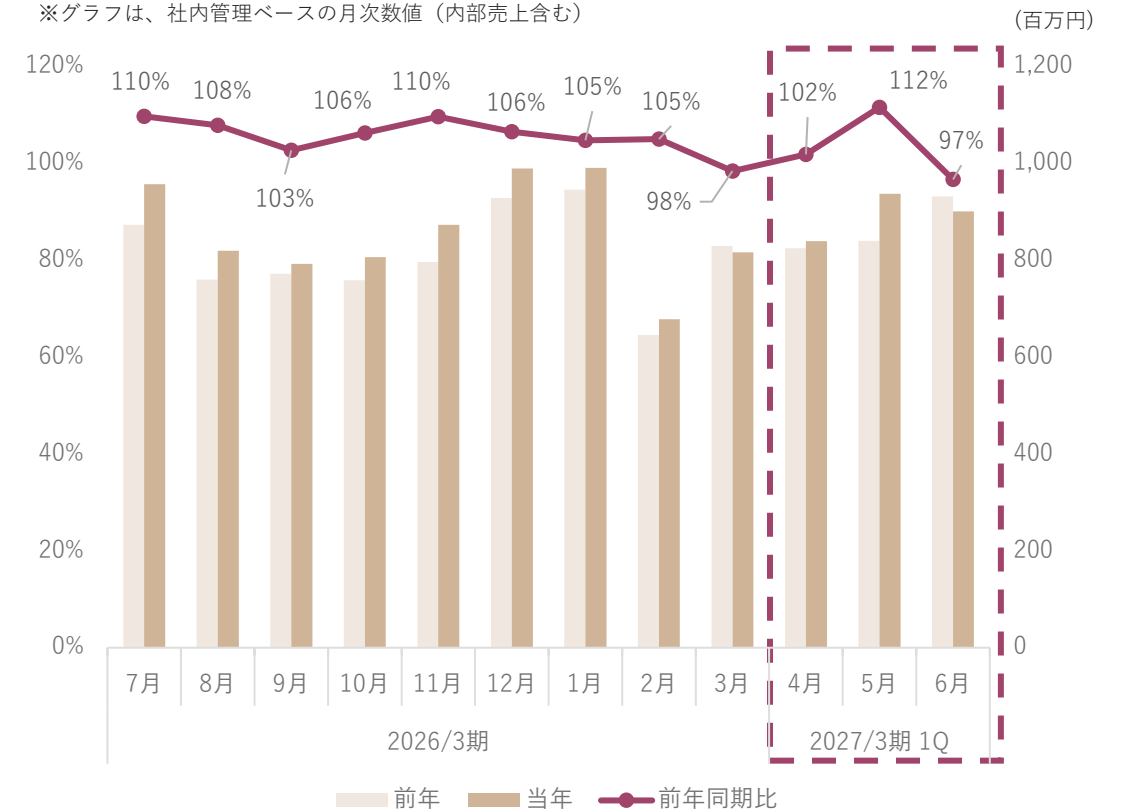


2026年4月 前年 ▼ × 他社EC納品苦戦 ○ 自社EC好調
 2026年5月 前年 ▼ × 実店舗納品苦戦 ○ 自社EC好調
 2026年6月 前年 ▲ ○ 自社EC、他社ECとも好調 ○ 実店舗納品進行

(株) ピーチ・ジョン

27/3月期1Q累計:前年同期比103% ▲

※グラフは、社内管理ベースの月次数値（内部売上含む）



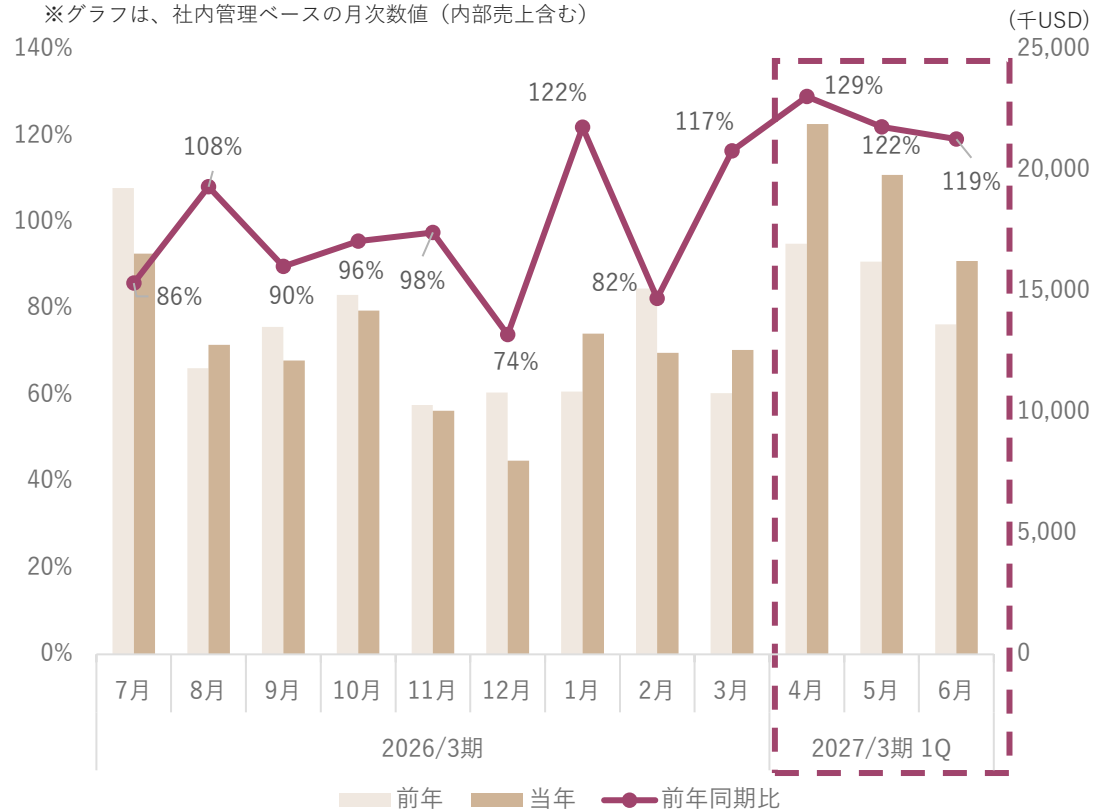
2026年4月 前年 ▲ ○ EC、実店舗とも好調
 2026年5月 前年 ▲ ○ EC、実店舗とも好調
 2026年6月 前年 ▼ × 実店舗苦戦（販促月ずれ影響） △ 自社EC低調

海外主要子会社の売上月次推移①

米国ワコール※Glamorise社含む

27/3月期1Q累計:前年同期比124%▲

※グラフは、社内管理ベースの月次数値（内部売上含む）

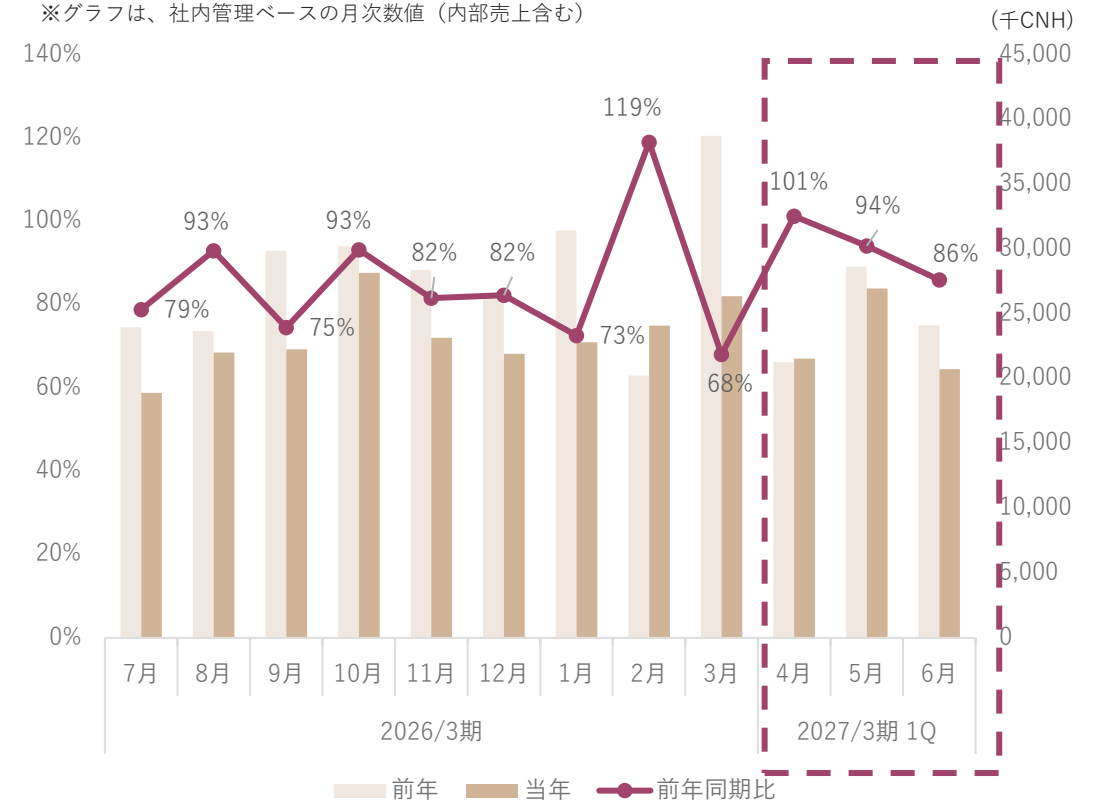


2026年4月 前年▲ ○買収による増収 ×自社EC苦戦
 2026年5月 前年▲ ○買収による増収 ○自社EC好調 ×百貨店苦戦
 2026年6月 前年▲ ○買収による増収 ○EC好調 ×百貨店苦戦

中国ワコール

27/3月期1Q累計:前年同期比94%▼

※グラフは、社内管理ベースの月次数値（内部売上含む）



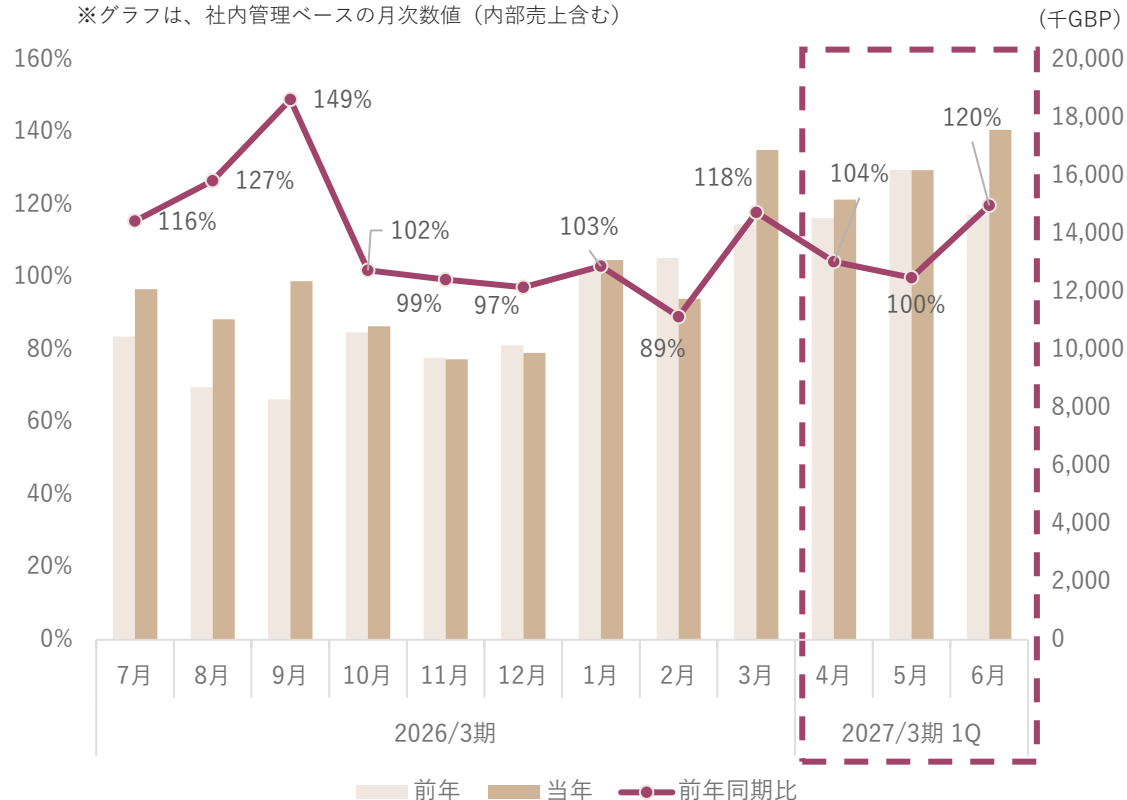
2026年4月 前年▲ ○EC好調 ×実店舗苦戦
 2026年5月 前年▼ ×実店舗苦戦(既存店は堅調) ×EC苦戦
 2026年6月 前年▼ ×実店舗苦戦 ×EC苦戦

海外主要子会社の売上月次推移②

ワコールヨーロッパ※Bravissimo社含む

27/3月期1Q累計:前年同期比108%▲

※グラフは、社内管理ベースの月次数値（内部売上含む）

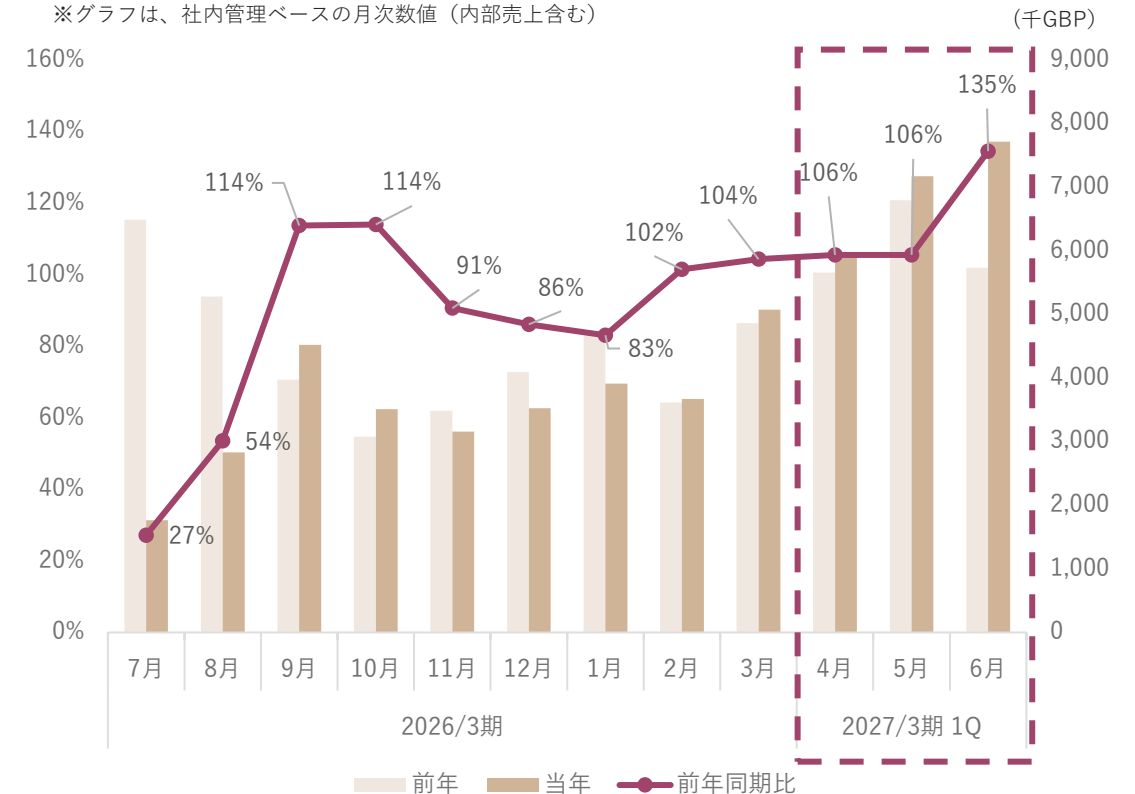


2026年4月 前年▲ ○北米好調 △英国、欧州低調(月ずれ影響)
 2026年5月 前年▲ ○北米好調 ×英国不調
 2026年6月 前年▲ ○欧州堅調 ○北米好調

Bravissimo社

27/3月期1Q累計:前年同期比115%▲

※グラフは、社内管理ベースの月次数値（内部売上含む）



2026年4月 前年▲ ○直営店好調 ×EC苦戦
 2026年5月 前年▲ ○直営店好調 ×EC苦戦
 2026年6月 前年▲ ○前年6月下旬発生の物流倉庫火災影響の反動

連結財政状態計算書（BS）

（単位：億円）

	2026年3月末	構成比	2026年6月末	構成比	増減
現金及び現金同等物	442		① 317		-124
営業債権及びその他の債権	174		190		+15
棚卸資産	511		522		+11
その他	69		82		+13
流動資産 計	1,196	40.9%	1,111	38.1%	-85
有形固定資産・無形資産・使用権資産	583		575		-8
のれん	155		② 200		+45
その他の金融資産	473		③ 513		+40
その他	516		520		+4
非流動資産 計	1,727	59.1%	1,808	61.9%	+81
資産 合計	2,923		2,919		-4
	2026年3月末	構成比	2026年6月末	構成比	増減
営業債務及びその他の債務（買掛債務）	124		128		+4
借入金	123		124		+1
リース負債	120		119		-1
繰延税金負債	193		④ 210		+17
その他	239		⑤ 182		-57
負債 計	799	27.3%	763	26.1%	-36
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,096		⑥ 2,128		+32
非支配持分	28		28		0
資本 計	2,124	72.7%	2,156	73.9%	+32
負債及び資本 合計	2,923		2,919		-4

① 法人税の支払い及び
Glamorise社買収費用支払いによる減少

② Glamorise社買収によるのれんの増加

③ 有価証券の時価評価上昇

④ 有価証券評価差額の増加

⑤ 法人税支払いによる減少

⑥ 有価証券の時価評価上昇及び
為替換算差額の増加

(参考) ワコールのブランド展開 (国内)

中核子会社である(株)ワコールでは徹底した「顧客起点」のブランドマネジメントを推進し、提供価値が明確な魅力あふれるブランドの育成を目指す。現在、レディスインナーウェアを中心に12のブランドを展開

国内における レディスインナーウェアのブランド別価格帯

ハイクレミアム
プレミアム
ベター
モデレート
アフォーダブル
コストセービング

Salute Yue

WACOAL

Wing AMPHI GOCOCI

コンディショニング
ウェア

レディス
インナーウェア

メンズ
インナーウェア

レディスインナーウェアからの
派生ブランド

yojoy Remamma™ WACOAL



CW-X

1991年に誕生。ワコールの人間科学研究をもとに独自のテーピング原理を応用して開発されたコンディショニングウェアブランド。特にスポーツタイツは、筋肉や関節の負担を軽減し、アスリートから一般ユーザーまで幅広い支持を得る



WACOAL MEN

2014年に誕生。ワコールの設計技術を活かして開発されたメンズインナーウェアブランド。フィット感、肌触り、動きやすさの三要素を高次元で兼ね備え、飽きることのない上品で華やかなスタイリッシュさを実現

レディスインナーウェアのブランド別コンセプト



WACOAL

人体科学に基づいた設計と上質なもののづくりを強みとし、国内外で展開するワコールグループの中核ブランド。ブランドコンセプトは「愛するわたしへ。Love your moment.」すべての一人ひとりに、「自分を見つめ、自分を愛せる瞬間」を



Wing

1975年に誕生。国内量販店やECサイトを中心に展開。「生活するからだ」と会話する」をコンセプトに、機能とデザインにこだわり、さまざまなからだやこころの変化に応えるアイテムを提供



Salute

1979年に誕生。確かなボディメイク機能と高いデザイン性を兼ね備え、セクシーであることを自由に愉しめるインナーウェアブランド。ブランドコンセプトは「劇的セクシー」



Yue

2021年に誕生。ものごとの理由を表す「由縁」から着想した名をもつ。厳選された素材、丁寧な縫製、美しいフォルム設計により、「最高で最良のここちよさ」と豊かな日常を提供



AMPHI

2006年に誕生。国内直営店やECサイトを中心に展開。トレンドを取り入れたデザインと軽やかなつけごちで、「今の気分」に寄り添うアイテムを提供

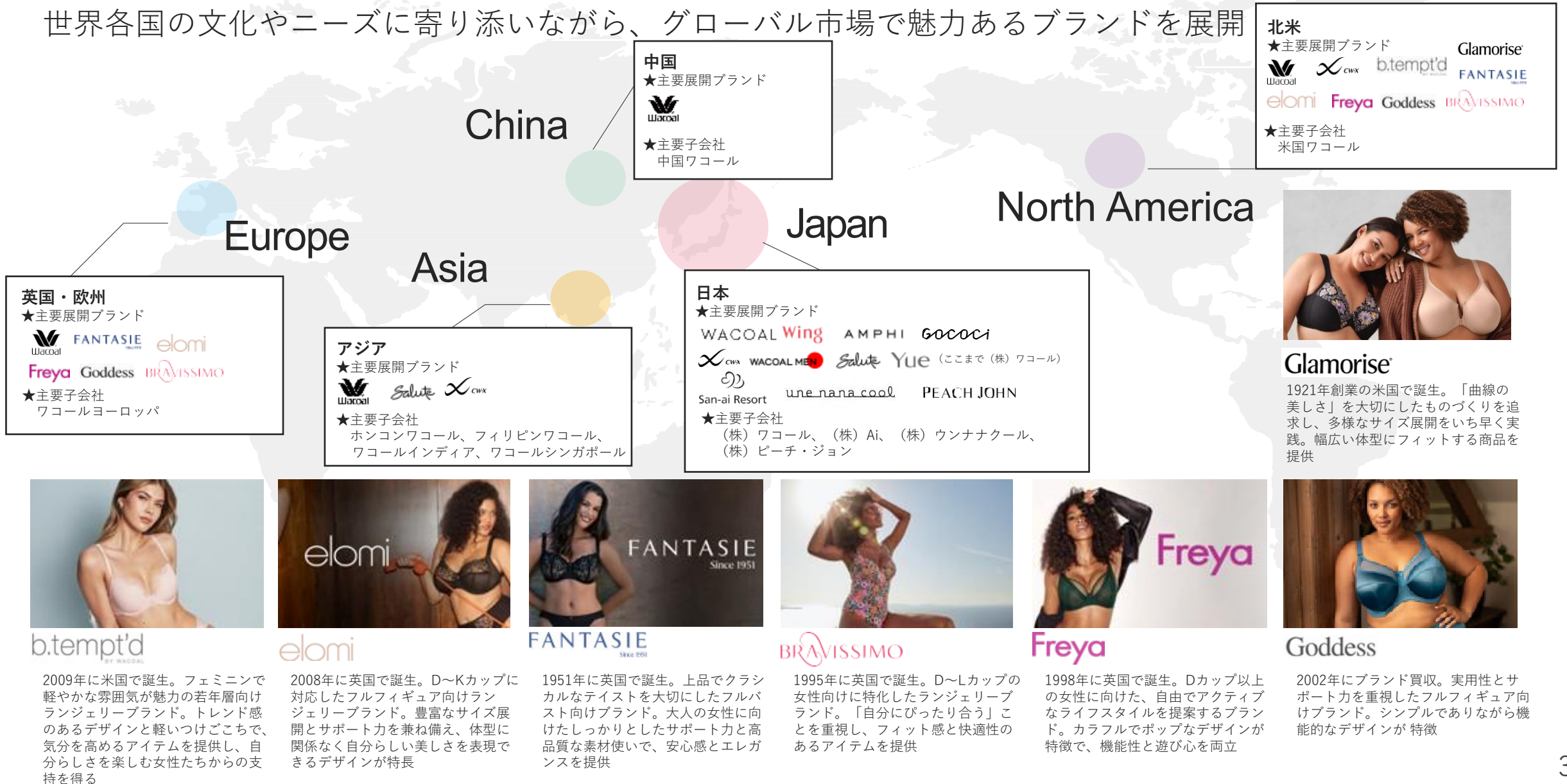


GOCOCI

2017年に誕生。実店舗、ECサイトを含む国内の幅広いチャネルでノンワイヤーアイテムを中心に展開。インナーウェア視点から、おしゃれをより楽しくするアイテムを提供

(参考) ワコールのブランド展開 (海外)

世界各国の文化やニーズに寄り添いながら、グローバル市場で魅力あるブランドを展開



ディスクレマー

この資料に掲載されている情報のうち、将来の業績に関する見通しについては、本資料の作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、その実現・達成を保証又は約束するものではありません。また今後、予告なしに変更されることがあります。

これらの情報の掲載にあたっては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りに関しまして、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

IRお問い合わせ先

株式会社ワコールホールディングス

IRサイト：<https://www.wacoalholdings.jp/ir/>

お問合せ先：ir-wmg@wacoal.co.jp

IR情報の発信



株式会社ワコールホールディングスIR・広報

https://x.com/Wacoal_IR_PR



株式会社ワコールホールディングスIR

https://note.com/wacoal_ir